

## CONTENTS

はじめに	3
本書の読み方	5

## 第1章 ビスマルク登場

第1幕	シェーンハウゼンの暴れん坊 ビスマルクの生い立ち	11
第2幕	「天下統一は、鉄と血によって」 鉄血宰相の誕生	23
第3幕	“四面楚歌”の突破口 ポーランド独立暴動	33
第4幕	“一石四鳥”の離れ業 シュレスウィヒ=ホルシュタイン戦争	41
第5幕	「親友」の囁き ピアリッツ会盟	49
第6幕	砲声に赴け！ 普墺戦争	63
第7幕	底知れぬ遠謀深慮 ブラハ平和条約	77

## 第2章 ビスマルクの独擅場

第1幕	新たなる国際秩序にひそむ敵意 ブラハ平和条約後の欧州情勢	87
第2幕	“絶妙な”情報漏洩 普仏戦争の口実	95

第3幕	すべてはビスマルクの掌の上に エムス電報事件	103
第4幕	マリオネットの負け惜しみ 普仏戦争の勃発	115
第5幕	栄光と屈辱のヴェルサイユ ドイツ第二帝国の成立	123
第6幕	パリ＝コミューンの誕生 ヴェルサイユ仮条約	131

## 第3章

## ビスマルクの内政

第1幕	帝国の“2つの顔” ドイツ帝国憲法	141
第2幕	ビスマルク vs 南独諸邦 文化闘争	153
第3幕	社会主義者を叩くべし！ ビスマルクの政策転換	161
第4幕	元祖“アメとムチ”政策 社会主義者鎮圧法と社会保険法	167

## 第4章

## ビスマルク外交

第1幕	フランスの孤立 第1次三帝同盟の成立	175
第2幕	“誠実なる仲買人”の躓き 第1次三帝同盟の崩壊	183
第3幕	思いがけぬ復活 第2次三帝同盟の成立	191



第4幕	ビスマルク体制の完成 第2次三帝同盟の崩壊	199
-----	--------------------------	-----

第5幕	老いた水先案内人 ビスマルクの失脚	209
-----	----------------------	-----

## 最終章

## ビスマルク失脚後

第1幕	ビスマルク体制の崩壊 露仏同盟の成立	219
-----	-----------------------	-----

第2幕	ビスマルク亡き後の野望 3B 政策と3C政策	229
-----	---------------------------	-----

第3幕	際限なき建艦競争 艦隊法と日英同盟	241
-----	----------------------	-----

第4幕	忍び寄る災い 英仏協商と第1次モロッコ事件	253
-----	--------------------------	-----

第5幕	悪夢の対独包囲網 英露協商の成立	261
-----	---------------------	-----

第6幕	信頼関係の綻びの末に 第2次モロッコ事件と伊土戦争	269
-----	------------------------------	-----

第7幕	蝕まれる帝国 第1次バルカン戦争	277
-----	---------------------	-----

最終幕	世界大戦への導火線 第2次バルカン戦争	283
-----	------------------------	-----

## Column コラム

溺れたビスマルクの友人	22
健康のために死を選ぶ者	32
成功者の共通点	40
「天才、天才を知る」	62
事は教科書通りに進まぬ	76
勝ちすぎではならない	86
縦が有利か、横が有利か	94
ジグマリンゲン家とは？	102
因果応報	140
ヴィルヘルム2世と煬帝	152
歴史に逆らう者の末路	160
社会主義のジレンマ	174
バクス=ビスマルカーナ	182
頂点に君臨する者	198
日本を救ったビスマルク	208
親の愛に飢えた子の哀しい性	218
解任・罷免・更迭の違い	228
“超弩級”のなれの果て	252
条約文の“誤訳”	276

